

医学研究実施のお知らせ

薬剤部では、以下の研究を実施しております。

研究の対象となる方（または代理人の方）で、この研究計画について詳しくお知りになりたい場合、この研究に情報を利用することをご了解できない場合は、【問い合わせ先】へご照会ください。

ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究の成果は、患者さんの氏名等の個人情報明らかにしないようにしたうえで、学会発表や学術雑誌等で公表します。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問合せがあれば開示いたしますので、【問い合わせ先】までご連絡ください。

【研究課題名】

薬学臨床実習に向けた実践的シミュレーション教育用事例の開発

【研究責任者】

早川 直樹

【研究の概要】

（１）研究の背景

薬学教育モデルコア・カリキュラム（平成 25 年度版）では、学ぶべき基本的な病態として 8 疾患領域（がん、高血圧症、糖尿病、心疾患、脳血管疾患、精神神経疾患、免疫・アレルギー疾患、感染症）を示しています。これらについて、症例ベースの解説をしたいくつもの清書も発刊されているものの、患者の状態を経時的に追うために十分な期間（例えば、薬物療法開始後、状態が安定するまで）に渡り詳細にフォローできるものは現在のところありません。また、学校法人大阪医科薬科大学は大学病院を有するものの、超急性期医療を担う病院であるため、薬学生（主に 4 年次生）が学ぶべき基本的な病態を有する事例が限られています。

（２）研究の目的

本研究では、薬学教育において、模擬事例を用いた実践的なシミュレーション教育を取

り入れることで、臨床教育の充実を図ることを目的とします。

(3) 研究期間（対象患者の情報収集をさせていただく期間）

2019年4月～2024年3月31日

この研究は、守口敬仁会病院倫理審査委員会の承認を受け、守口敬仁会病院病院長の許可を受けて実施するものです（承認番号：202311）。

(4) 研究の対象

期間中に当院で加療を行った患者の中で、8疾患領域（がん、高血圧症、糖尿病、心疾患、脳血管疾患、精神神経疾患、免疫・アレルギー疾患、感染症）に該当し、模擬事例になりうる患者さんが対象となります。

(5) 研究の内容と方法

患者背景、既往歴、現病歴、アレルギー・副作用歴、主な検査値、薬歴、転帰など薬物療法を考える上で必要と思われる情報を電子カルテ内から収集します。得られた情報は臨床実習に出る前の導入学習において、服薬指導や薬学的管理計画を学修する際の模擬事例として活用させていただきます。また、薬物治療の理解を深めるために、1年～6年まで症例基盤型学習（Case based learning：CBL）ならびにチーム基盤型学習（Team based learning：TBL）の際の模擬事例として活用させていただきます。

(6) 研究に用いる試料・情報の種類

・試料：無し

・情報：①患者基本情報として、患者背景、既往歴、現病歴、アレルギー・副作用歴、主な薬歴、転帰など（この際、生年月日、カルテ番号、住所、氏名などの個人を特定するような情報は研究に用いませぬ）、②疾患情報として、病歴、使用薬剤など、③検査情報として血液データやX線検査（心胸比）、胸部CT検査、心臓超音波検査などの結果・所見など

収集した情報は、解析する前に氏名・患者IDなどの個人情報を削り、新たな符号（番号）をつけ、どなたのものかわからないようにします（このことを匿名化といいます）。研究成果を学会や論文で発表する際も、個人が特定できる情報は利用いたしません。

【問い合わせ先（対応時間：平日 09：00 ～ 17：00）】

社会医療法人 彩樹 守口敬仁会病院

06-6906-9000

研究責任者 薬剂部 薬剂部长 早川直树